



考える子
やさしい子
たくましい子

角尾山

<https://www.city.nishiwaki.lg.jp/houtaelementaryschool/tayori/index.html>

年頭にあたって

学校長

新年あけましておめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。旧年中は、本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年1年が皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念いたします。

さて、昔から「1年の計は元旦にあり」と言われます。自分が今年したいことや、続けていきたいことなどを、年の始めのこの時期にしっかりとつとめることが大切です。「友だちとなかよくしよう」「〇〇の勉強をがんばろう」「走るのが速くなるように運動をがんばろう」など一人一人いろいろな夢や目標があることだと思います。何かをできるようになるためには、まずは、夢や目標をもつ。そして、その実現に向けて、日々努力を続けることが大切です。夢や目標をもつときに「無理かもしれない」と思うと脳はそのように働いてしまいがちですが、根拠がなくても「これができるのは当然だ」と脳をだますと実現に向けて動き出すという話を聞いたことがあります。実現した自分を想像して、ワクワクした気分であることが、努力が苦痛ではなく、楽しいものになり、いつのまにか習慣化し、実現が近くなるそうです。目の前の目標も将来につながる夢もそうやってワクワク気分でもち続けて、実現をめざしてほしいと思います。子どもたちに限らず大人の私たちも夢をもつことは大切です。ご家庭でも、お子様と「夢や目標」について話し合ってみてください。

最後になりましたが、今後も地域や保護者の皆様との信頼関係を大切に、芳田っ子全員がのびのびと元気にたくましく学校生活が送れますように職員一同、力を合わせて教育活動に取り組んでまいります。引き続きご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

1月の行事予定

*予定は12月14日現在のものです。 変更の可能性があります。

| | |
|---|--|
| 1日（月）元日 | 17日（水）1.17 防災学習・避難訓練 |
| 2日（火）年始の休日3日まで | 18日（木）おはようスポーツ |
| 8日（月）成人の日 | 22日（月）乳幼児ふれあい体験（5・6年） |
| 9日（火）始業式（10:30一斉下校） | 23日（火）里山体験（3年） |
| 10日（水）通学区児童会 発育測定（低） 給食開始 学年費・PTA会費振替日 | 26日（金）租税教室（6年）お米食べ比べ会（1～3年） |
| 11日（木）児童朝会 発育測定（高） | 29日（月）文化庁学校巡回公演事業〈笑って亭〉 |
| 12日（金）委員会活動 | 30日（火）重小との交流（6年）代表委員会 スクールカウンセラー来校日 |
| 14日（日）PTAリサイクル活動 予備日21日 | 31日（水）嬉野台高齢者大学による紙芝居（4～6年） |
| 16日（火）里山体験（3年）スクールカウンセラー来校日 | |

第39回 西脇市子ども造形作品展

毎年恒例の作品展を、今年度も下記のとおり開催いたします。今年度も市内小中学生全員による共同展示が行われます。会場は前回と同じく、オリナスホールです。

西脇市内の小・中学校の児童・生徒が、図工や美術の学習の中で楽しみながら、創意工夫して作り上げた作品が、多数展示されます。ぜひご覧になってください。

| | |
|----|--------------------|
| 日時 | 1月20日（土）9:00～17:00 |
| | 1月21日（日）9:00～17:00 |
| | 1月22日（月）9:00～12:00 |
| 会場 | 西脇市市民交流施設 オリナスホール |



★いずみ文庫寄贈の御礼★

今年度もいずみ寮の皆様より「いずみ文庫」に寄贈していただきました。この取り組みは、34年も前から、毎年続けてくださっています。本当にありがとうございました。

芋ほり体験

今年も、JAの方や地域の皆様にお世話になり、1・2・3年生で、芋ほりを体験させていただきました。今年度は酷暑や動物の食害などもあり、収穫量は少なめでしたが、子どもたちは芋を見つけて大喜びでした。

育ててくださった皆様、本当にありがとうございました。



PTA特集

ようやく…

コロナのパンデミックから早4年。当時1年生だった長男は5年生になりました。緊急事態宣言による臨時休校や長期間のマスク生活、行事の制限など、コロナの影響を大きく受けた学校生活だったと思います。

今年度は5類に移行され、ようやく平常の生活に戻れたかなと思える1年となりました。各行事では子どもたちの笑顔や真剣な顔、何事にも全力で取り組む姿を見ることができて、なんだか胸が熱くなりました。

春から6年生と3年生になる我が子ですが、兄妹と一緒に学校に通える最後の1年になると思うと既に寂しいです。芳田小学校の友だち、先生方と過ごせる時間を大切に、思いっきり楽しんでほしいなと思います。私自身もコロナ禍で気づかされた、あたり前の日常の大切さを忘れず、日々過ごしていきたいです。

未来へ

我が家の子どもたちにとっての母校は、私にとっても母校である。我が子が芳田小学校にお世話になることとなり、久しぶりに足を踏み入れた十数年前。正面に鎮座する自分たちの卒業記念碑、昔と全く同じ校長室のソファ、なつかしくてニヤリとした。校歌は伴奏がはじまると自然と口をついて出てくる。またまたニヤリである。そんな母校の校歌もあと数年で聞けなくなってしまう。小学校がなくなった地域は、これからどうなっていくのか!?

時代や事象に応じて「考え・判断し、行動に起こせる力のある子ども」を育むためには、地域とのコミュニケーションや支えが重要であると、先の青少年育成会講演で学んだ。残される地域はどうあるべきか? 未来の地域づくりを我々は試されている。互いが学び合い、支え合い、子を育む地域へ。それこそ、「君たちはどう生きるか?」である。

感謝をこめて

2019年度の3学期、芳田小学校に転校して初めての登校日。当時2年生だった娘と校門をくぐって玄関に向かう時、ベランダにわーっと出てきた子どもたちからの「転校生?」というキラキラした笑顔と校庭中に響く元気の良い声を聞いて友だちが出来るか、上手く馴染めるか、と心配していた気持ちがほぐれたのを今でも思い出します。あれから4年が経ち、人見知りや恥づかしがり屋で甘えん坊だった娘が登校班の班長として先頭に立ち登校していく後姿を見て、成長や頼もしさを感じると同時に、この姿を見るのも残り数か月かと少し寂しさも感じています。突然の転校生をすんなり受け入れてくれたお友だち、先生方、保護者や地域の皆様のおかげで楽しい小学校生活送れました。本当にお世話になりました。6年生の皆さんは残り少ない小学校生活を楽しみつつ、中学校でも頑張ってください。